

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年1月4日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年1月4日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>■環境・体制整備</p> <p>↳充実した設備/スペースの工夫/事業所の清潔感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チタニアコーティングの実施による滅菌 ・アラエル(シャワーボット)使用による利用者の清潔感の確保と従業員の負担の少ない作業、安心安全の確保 ・空間を十分に活用した季節折々の空間作り ・事業所施設内の毎日の清掃 ・送迎者定期洗車による清潔感の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安心安全な完全作業を実施するための人員体制の維持、確保と人材育成の実施。
2	<p>■適切な支援の提供</p> <p>↳制作や季節行事の実施、個別療育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作や行事は利用者が参加できるよう工夫し、利用者の個性が出る形で実施。特に制作物やイベントごとのプレゼントは、保護者だけでなく、それを見た外部の第三者からも評判がよいことをしばしば耳にし、従業員のモチベーションにもつながっている。 ・機能訓練面においても、非常勤の採用を強化し、しっかりと時間が確保できる土日に集中的に配置することで、PT・OT・ST多方面から支援を実施できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今期はプールイベントを複数事業所合同で実施したが、来期は加えて体育館を貸切る等してプールイベントと比較して、ライトかつよりオープンな家族参加型イベントを検討したい。 ・機能訓練面においては量の担保はできたため、今後はいかに質を高めていくにフォーカスをあてていく。 ・今後検討したい取り組みとして、土日にリハビリを目的とした通所の活用も検討したい。
3	<p>■保護者への説明等</p> <p>↳適切なコミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE WORKSやコノベル等を利用した一貫した情報共有体制の構築 ・送迎時の保護者への利用前後の情報共有の徹底 ・当日の活動内容の写真的共有とSNS(インスタ)を活用した情報共有。今季特に強化された箇所であり、ブラックボックスになりがちである事業所の過ごし方などを自身のお子様だけでなく、他児の様子も同様にすることでよりリアルな様子を伝えることができた。また、ストーリー性がある投稿に工夫することで保護者様からはインスタを見ることを楽しみにしている等の声をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定研修であるBCPや身体拘束虐待研修はもちろんのこと、避難訓練研修(台風・水害、消防総合、不審者)、見守り(午睡、水遊び、事故等)研修等を毎年実施しているものの、保護者様には実施していることが伝わりきれていないため、研修の様子についてもHP・SNSにて発信を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現状に満足しないこと。事業所の運営を更に良いものにしていくために、従業員ひとりひとりがそれぞれ高い当事者意識・高い視座のもと、主体的に行動を行うこと。	現状時にはないが、各推進において高い質の担保と維持向上を継続的に行いPDCAが必要なものはそれが実行できるかどうか。それを実施するにあたり、必要なスキルの見極めと必要に応じて支援の実施ができるかどうか等。	<p>昨年度末に決定した各推進リーダーは下記。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会(毎月の研修等)推進委員長 ・風土醸成委員長 ・専門的支援(機能訓練)推進委員長 ・ナレッジ共有推進委員長 ・SNS推進委員長 ・清掃衛生推進委員長 <p>来期は各委員長がリーダーとなり率先垂範することで、各分野における取り組みを実施することとする。</p>
2	より良い事業所運営に向けた外部評価、アドバイスの取り込み	個人情報の観点で実現が可能かどうか	個人情報保護の観点に配慮が必要であるため、保護者の同意を得たうえで、他事業所と連携し、管理者・児発管の双方向の外部評価を行えないかを検討。
3	開かれた事業運営	安全面の確保及び資金確保、人員確保ができるかどうか。また変動要因が大きいため初回は特に要検討し慎重に判断する必要がある。	<p>今期は他事業所と連携し、家族参加型のプールイベントを試験的に実施。保護者様からはプールという観点もそうだが、何よりも家族と一緒に参加し思い出に残る時間を過ごせたことに対する感謝や満足感の声を多くいただいた。</p> <p>来期はこれに加え、体育館の貸し切りを行い家族参加型の屋内イベントの実施を行いたい。共同する事業所の範囲や障がい特性の範囲及び有無、自由参加制か招待制か、CFを用いてくじ引きの景品を用意するか否かなど検討事項あり。</p>